

～「～たい」がいっぱいの後期に～



猛暑がようやく終わりを告げ、秋の涼しさを感じる季節となりました。前期終業式では、一人一人が頑張ってきたこと、皆で協力して頑張ったことについて話しました。子供たちが前期を振り返った「キャリアパスポート」には、国語の漢字や算数の計算など、学習面で頑張ったことの他に、「挨拶を先にするようになった。」や、「ふわふわ言葉を使って仲良く遊んだ。」、「すぐにあきらめなくなった。」等の記載もあり、心の成長を感じました。自分でこつこつと努力を続けること、一つの目標に向かって皆で協力し合うことは学校の大切な勉強の一つです。今後も本校の教育目標である「やさしい子 考える子 たくましい子」の育成に向けて取り組んでまいります。

先日、ノーベル生理学・医学賞を大阪大学の坂口志文氏に、ノーベル科学賞を京都大学の北川進氏に授与することが発表されました。これは、両氏が苦難の中でもチャレンジ精神や根気強く続ける気持ちを忘れずに研究を進めてこられた成果と言えます。後期の始業式では、お二人の受賞を紹介するとともに、皆で「～たい」がいっぱいの学校にしようと話しました。「やってみたい」「伝えたい」「調べたい」「続けたい」「できるようになりたい」等、一人一人の「～たい」を大切にし、全職員で支援していきたいと思います。

保護者の皆様には4月から10月の前期において、様々な場面で学校教育にご支援とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。後期も子供たちの成長のために、引き続き本校教育活動にご支援、ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

校長